年頭所感

日本教育書道会
会長　古川暁洲

あたらしき年のはじめは楽しかり
わがたましひを養ひゆかむ

この歌は山形県出身の斉藤茂吉先生の歌であります。このような心境を大切にしなければならないと思う今日このごろです。書に深いかかわりのある今年の干支は丙申《ひのえさる》で、時節をしたためる機会に多くめぐりあいたい平成28年２０１６年のはじめでございます。

誰にでもよく見えて見えないものに古典や手本がありますが、かといって進歩と技量の程度によって見方に深浅があらわれるので書学に近付いてみることが大事で、書美の本質を追究するには一歩一歩学び積み重ねながら進むのが上達への一番の近道ではないでしょうか。

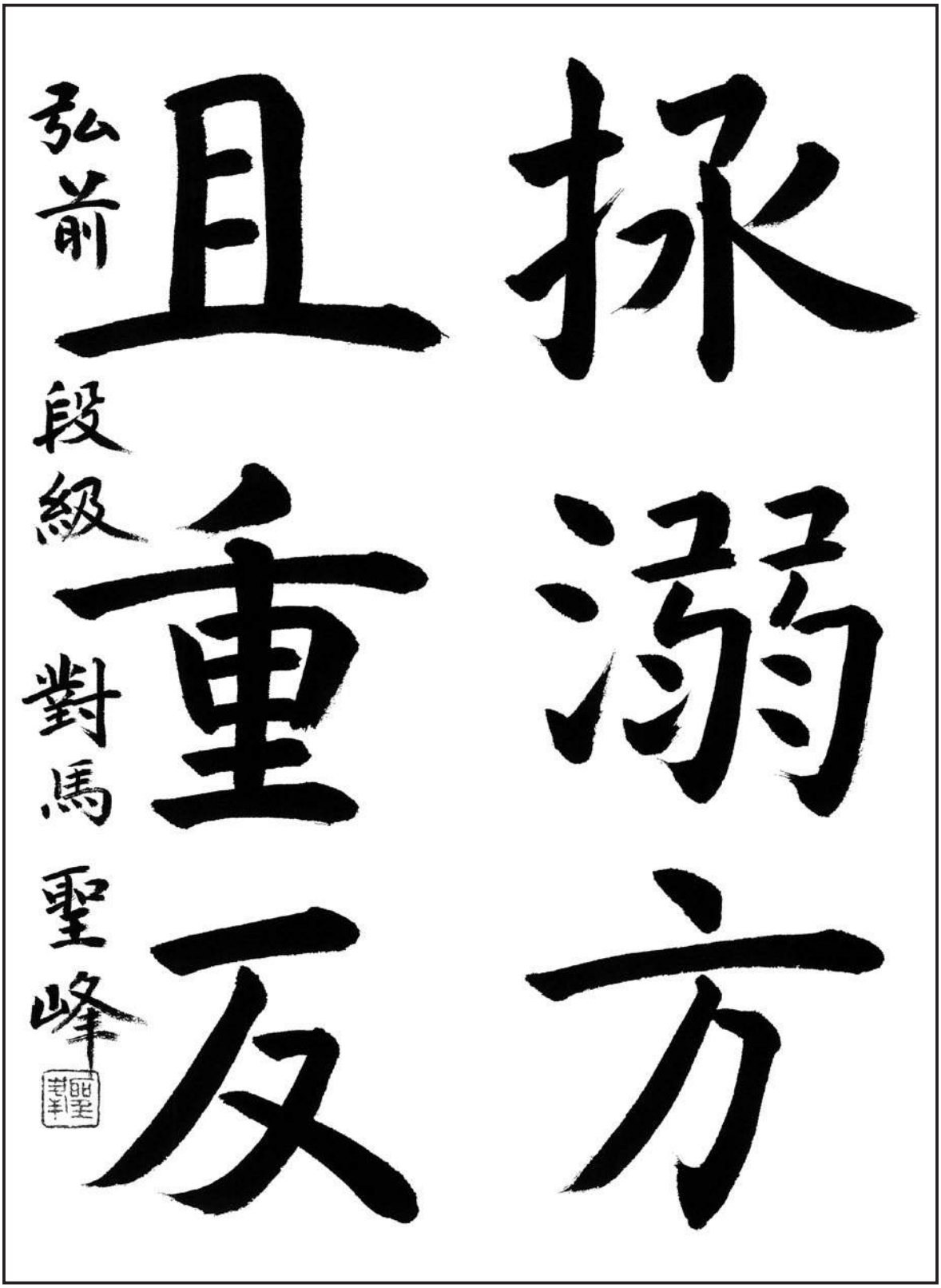
昨年のレジャー白書によりますと、書道人口が4.7％アップしているようで、文字文化の振興も明るい方向にむかっております。王羲之（３０７～３６５）の書論に『文字を書くたびに十遅五急、十曲五直、十蔵五出、十起五伏ができるよう心がけてこそはじめて書ということができる』とありますが、「十」「五」は実数ではなく文のあやですが書作に真向う時の心がけとして大切な要素であり貴重な書論でございます。牛歩たりともじっくりと腰を落ちつけて歩みたいものです。

書展の会場のあちらこちらで教わるもの、教えるものの温かい師弟関係が、絆となっていることを実感しておりますが、その人間関係と書の構成上の要素が同類と思うほどに共通している部分があります。書の構成に文字群の形や文字の配置・余白・間合いのとり方・墨色などなど調和に気くばりするのは人と人とのかかわりに似ていてびっくりさせられます。本年も健康に留意し自分自身をほめる意義ある丙申に希望を大きくふくらませて下さるよう、書友各位のご健筆とご健勝をお祈り致します。

1月号　　楷書臨書課題（漢字半紙部）　對馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～八段）

※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（花林）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

楷書臨書課題解説

孔子廟堂碑（虞世南）

〔拯〕 偏と旁の高さに留意する。扌は幅狭く、旁は各画の方向に気を配り、最終右払いは長さを強調する。

〔溺〕 縦に3つの部分に分けて配置する。余白はほぼ均等につくる。また画と画の微妙に接していない部分に着目。

〔方〕 2画目を十分に長く、字幅をとる。3・4画目の方向に注意する。前字と同様、折筆部に着目。

〔且〕 1画目と2画目の縦の部分は※**向勢**気味に。横画の間隔を等しく。最終横画は長くふせて安定させる。

〔重〕 横画の間隔はほぼ等しく、2画目を思い切って長くする。左右のバランスをとって、安定した形に。

〔反〕 下部で広がり、安定させる。2画目・3画目の左払いは方向に留意する。最終画はしだいに太く、終筆はしっかりと止める。

※**向勢**…相対する2本の縦画が向かい合うように（外側へふくらむように）書くこと。

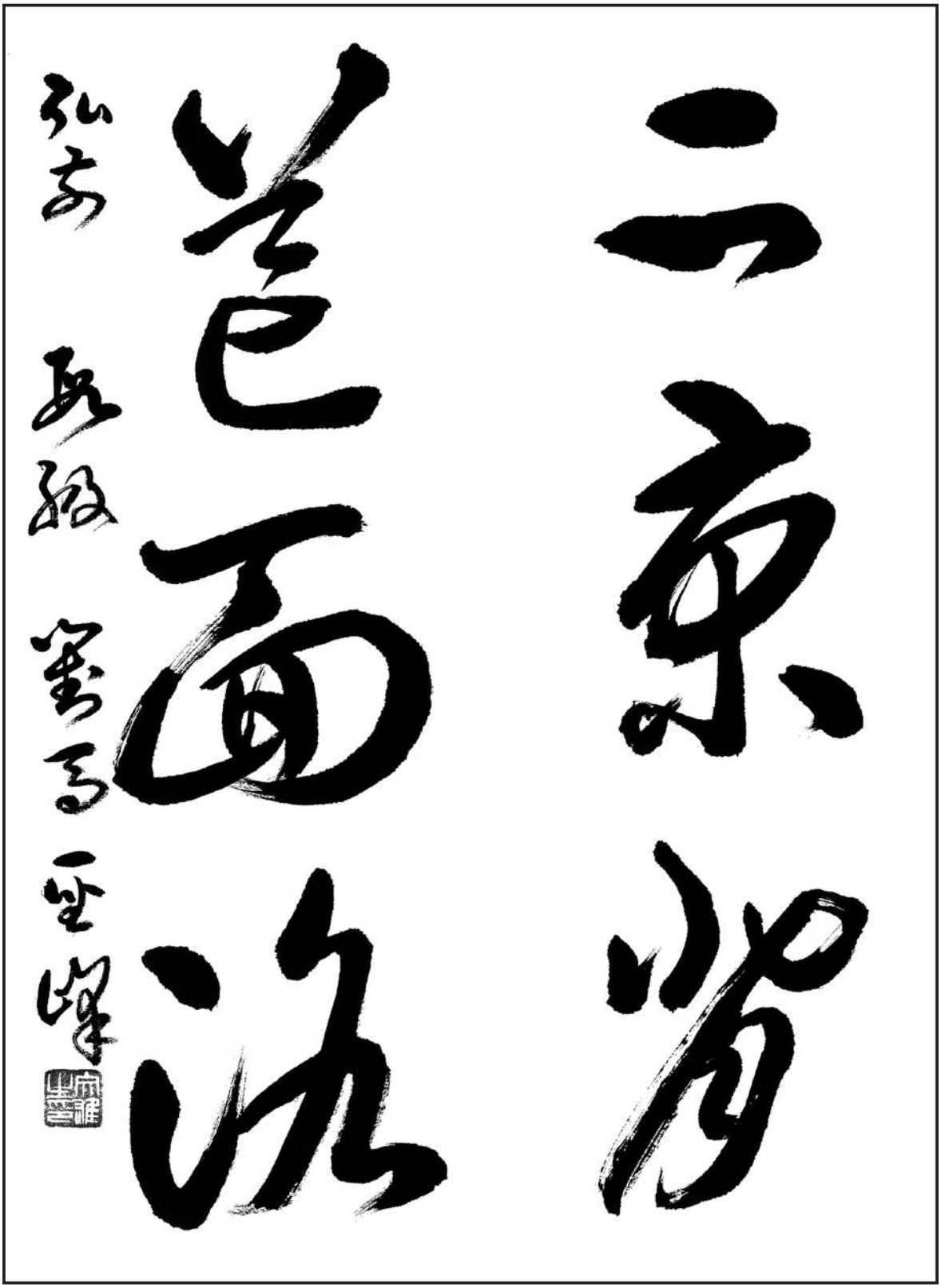
原帖

〔拯溺方且重反〕（義は）溺るるを拯うに（存するを知れり）。方に且に重び（淳風に）反り、

1月号　　草書臨書課題（漢字半紙部）　　對馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～八段）

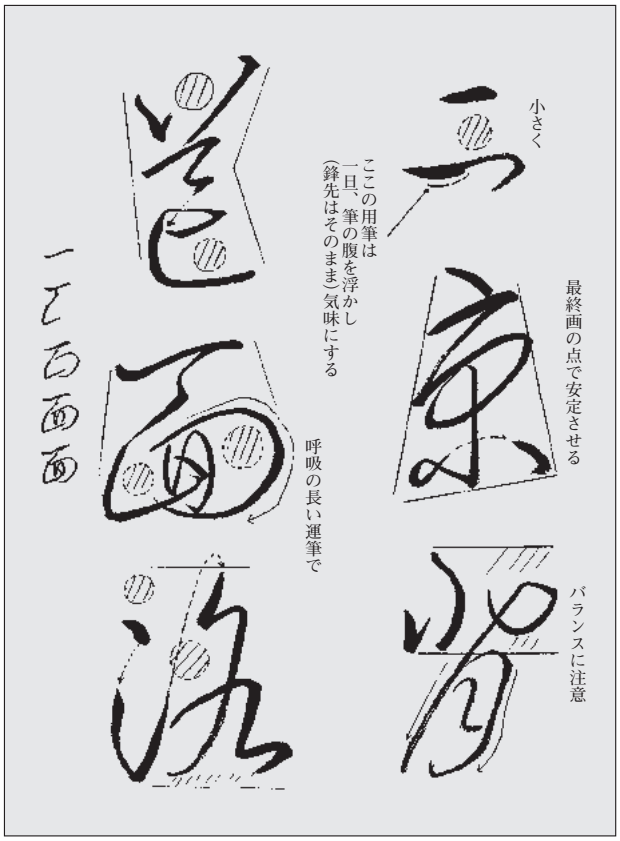
※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（旭水）・使用紙（無罫半紙・松）・使用墨（黒耀）

草書臨書課題解説

真草千字文（智永）



〔二〕 小さくまとめる。1画目は筆を置くだけでなく、入筆してから筆を開くイメージで。2画目の用筆は骨法解説を見て下さい。

〔京〕 全体に不等辺三角形にまとめる。上部左右の動きをスムーズにし、最終画の点で安定させている。

〔背〕 上部は高低差をつける。月の1画目は粘りあるじっくりした線で斜めにひっぱる。斜画が強いが、傾いて見えないようにバランスをとる。

〔芒〕 上部に大きな余白をつくり、縦長な形にまとめる。4つの横画は長短・方向・太細に変化をつける。

〔面〕 横広な形で、下部で広がる。右側のカーブの部分は呼吸の長い運筆で、余白のとり方も考慮して運筆してほしい。

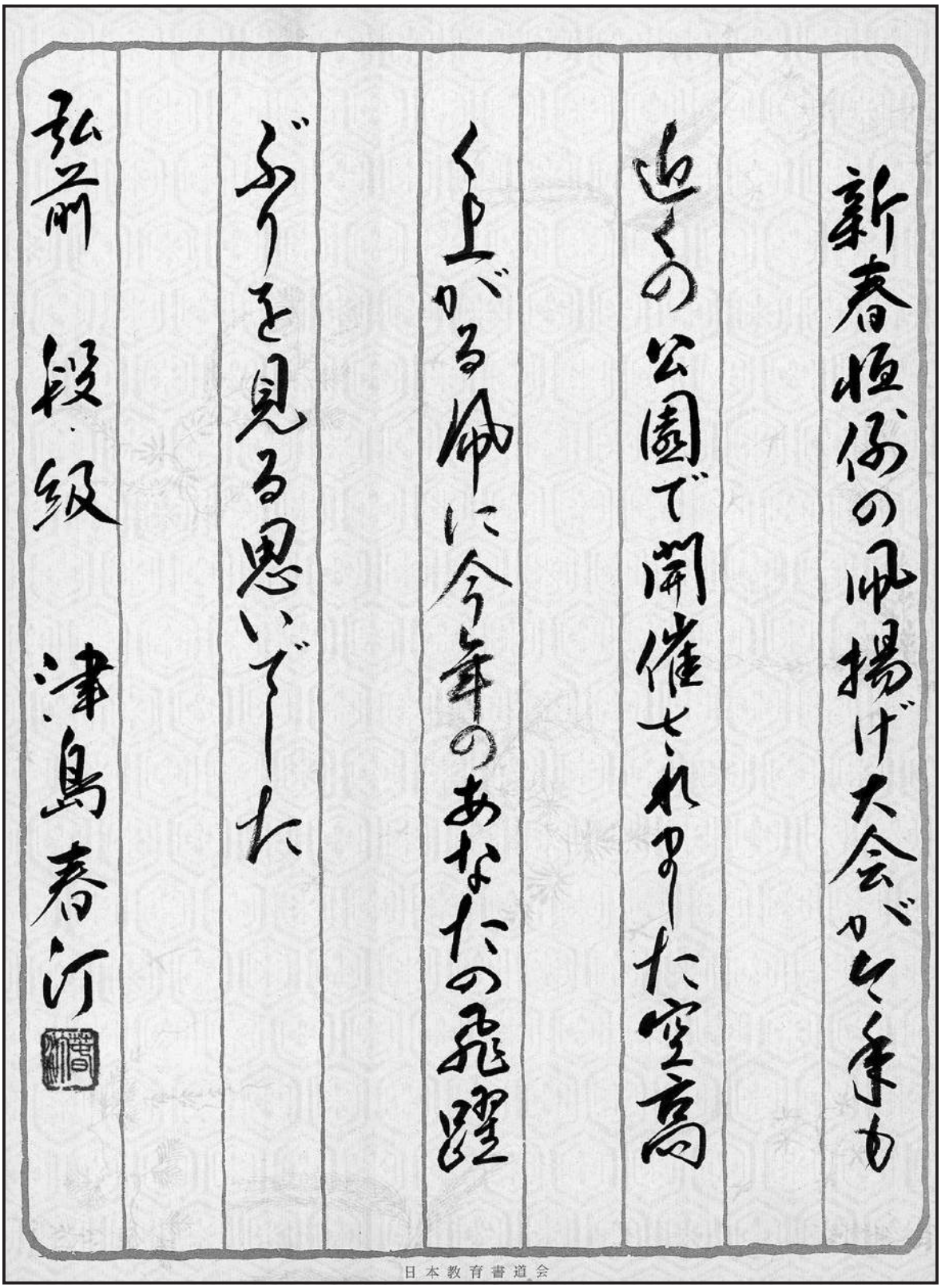
〔洛〕 懐を広くし、偏と旁は十分な高低差をつける。太細の変化をつけて。

原帖

〔二京背芒面洛〕（東西）二京あり。芒を背にし洛に面し、

※出品段級位（調和体部 新級～八段）

◎19頁に部分解説があります。



読み―◎新春恒例の凧揚げ大会が今年も　近くの◎公園で開催されました空高く上がる凧に今年の◎あなたの飛躍　ぶりを見る思いでした

（◎印墨つぎ）

※弘前の部分には支部名を書く

使用筆（からまつ）・使用紙（調和体用紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

漢字条幅漢詩課題

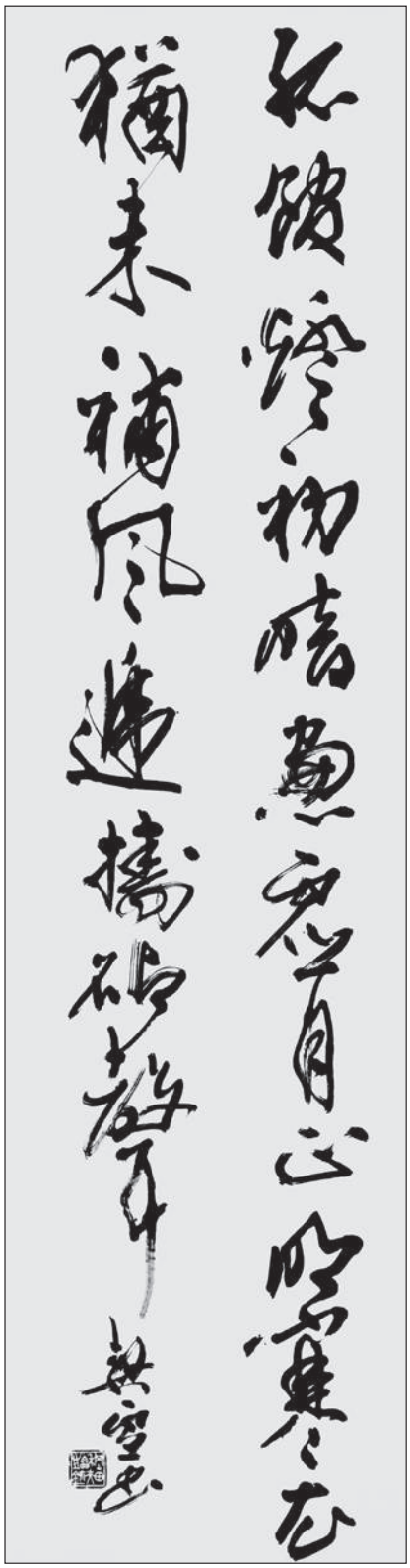
漢字条幅部
※出品段級位（新級～八段）

繰り返し練習を重ね、全体を眺めた時、外形は似ているのに雰囲気がどうも違うといったことがあります。それは肉眼で見えない部分、つまり運筆の速さとか呼吸、点画と点画の間にある空間、字と字の空間などの字間（ま）の取り方に注目することが必要です。その中のリズムが全体の雰囲気を作り出すのです。リズムを体得する方法として空書があります。空書とは胸中に用筆法を蔵して空中で運筆のリズムを味わうことです。穏やかなリズムで空書すると心が穏やかになり、闊達なリズムで運筆すると心が弾んできます。書く人自身の感興、性情はリズムと密接な関係があります。実際に筆で書く時と違って空書は紙に痕跡を残さないので、自由にのびのびと運筆できます。これを実習に生かすことにより、生き生きとした躍動感が生まれるはずです。

『競書課題の参考作品について、自分で集字をされている方は、別の表現形式を用いられることもあろうかと思いますが、大いに試みて下さい。1行目の**窗**と2行目の**拷**は、前後の文字の関連もあり、曲・直の変化等を考えて整えたつもりです。』

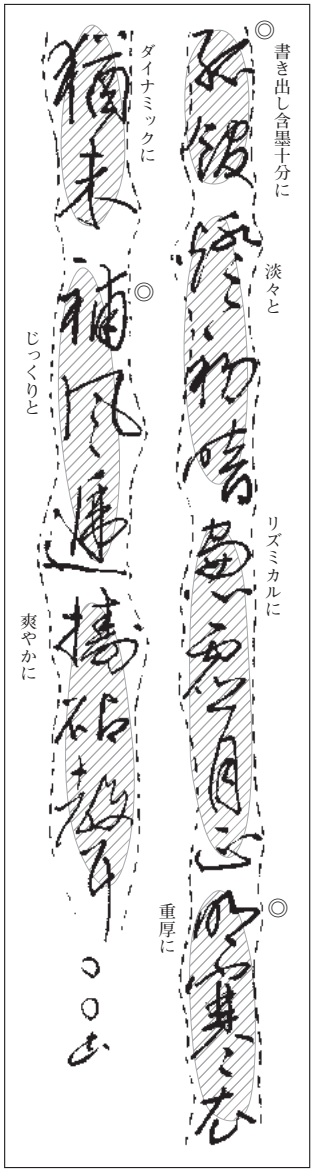
（『　』内は岡田契雪先生より）

岡田契雪先生書



半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。



使用筆（白神）・使用紙（漢字条幅用紙半切・梅花箋）・使用墨（頂煙翰墨自在〈固型〉）

〔孤館燈初暗　窗虚月正明◎　寒衣猶未補◎　風遞擣砧聲〕僧善住　（◎印は墨つき）

読み―孤館灯は初めて暗く、窗虚しく月正に明かなり。寒衣猶お未だ補わず、風は遞る砧を擣つの声。

意味―旅館でただ一人、灯は初めは暗く、窓には何もなく月だけが明るい。冬着をまだ用意できないが、風は砧を打つ音を伝えてくる。

注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

漢字条幅臨書課題

漢字条幅部
※出品段級位（新級～八段）

◆蜀素帖（米芾）

新しい年を迎えました。本年も書友の皆さんにとって佳い年でありますようお祈りしています。

年が新たまれば当然のことのように気持ちも改まるようです。常日頃のだらしない行いを深く反省し、メタボで醜い三段腹と今年こそはおさらばしたいと心秘かに神に仏に願っている私です。

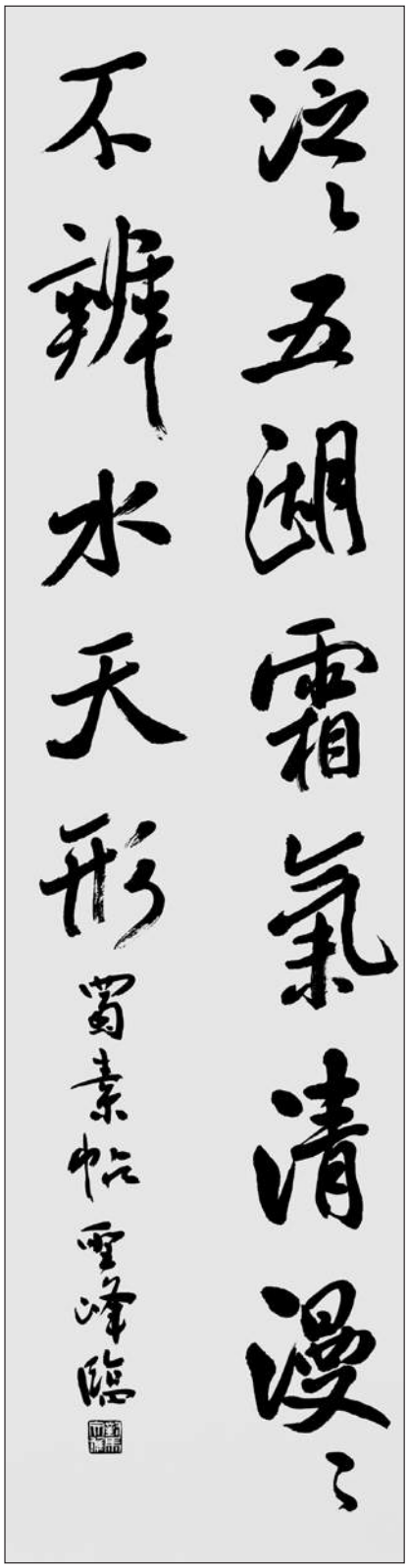
病は気からなんて昔から言われてきましたが、果たしてそうでしょうか。気持ちの持ちようで病気が吹っ飛ぶ、気を強く持てば腹が減っこむなら、お百度参り、いや滝に打たれる荒修行でも厭いませんが。マ、そんなことをしているうちに風邪をひくでしょうけど。やはり健康な体にこそ清く元気な心が宿るというもの。書友同志の皆様方、どうぞ自分の体は自分とお医者様が守るの精神で、今年も書の勉強を休まず頑張って下さい。

月に○○枚（最低2桁）書くのを休まず、清書出品は毎月休まず、そして自分を甘やかすのは休んで、さあ筆をとりましょう。

1行目にサンズイが4ヶ所ありますが、変化を見逃さないよう。特に**湖**のサンズイは独特です。

辨Ⅱ、亠、羊、刂、辨

對馬聖峰臨



〔泛泛五湖霜氣清◎　漫漫不辨水天形◎　蜀素帖〕

（◎印は墨つぎ）

読み―泛々たる五湖霜気清く、漫々として辨ぜず水天の形。

意味―満ちあふれる五湖の霜の気配はすがすがしく、涯しなく広がって水と空は区別がつかぬ。

使用筆（神技北斗）・使用紙（漢字条幅用紙半切・華心箋）・使用墨（黒耀（固型））

半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。

支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

漢字条幅初等課題
漢字条幅一行課題

漢字条幅部

※出品段級位（新級～準三段）
※出品段級位（新級～準五段）

新年おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。お正月のお花は「松、赤白の南天、白い菊、仏手柑（人間の手のような形をした黄色い柑橘類）」とこれでおめでたい花材5種、全体の概形を不等辺三角形につくり次に小さな不等辺三角形を沢山つくり作品にします。（書と似ている！）思ったようなお花が出来るか…楽しみです。

今年も佳き年となります事をお祈り致します。

今月号の墨継ぎは「綵」です。

☆書き出し中位の大きさに書く。

〔花〕「艹」は白を残しながらつくり、全体は密度濃く。

〔文〕☆上部「亠」は重く下部は軽く。5文字の中で一番小さく書く。

〔拂〕☆山場です。縦画・横画ともに3本有ります。不平行に書けたら嬉しいですね。

〔綵〕☆墨継ぎです。偏は重く、旁は小さ目に。

〔旒〕☆偏と旁の間を広くとって明るく、大きさは2番目位かな。

使用筆（初等・心月　一行・翔龍）・使用紙（初等・四半切華心箋　一行・半切華心箋）・使用墨（黒耀〈固型〉）

佐々木 彩苑 書

（◎印は墨つぎ）

〔花文拂綵旒〕張九齢

読み―花文綵旒を払う　意味―至るところの花で飾った模様は美しい旗をもしのいでいる。

綵旒⇓美しい彩りの旗の垂れ

初等…四半切（約68×約17.5センチ）
一行…半　切（約136×約35センチ）

初等課題原寸大手本300円、一行課題原寸大手本500円で販売しております。

注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

創作コーナー

出品資格「各部門5段以上」
作品締切日…1月25日必着

漢字半紙創作課題

※落款は支部名(県名)・姓号を毛筆で書き入れてください。

霜華淨碧空

読み―霜華碧空に浄し

漢字条幅創作課題

去時數點雨　歸時數片雪　雨雪兩不多　山路雙清絕

読み―去る時数点の雨、帰る時数片の雪。雨雪両に多からず、山路双つながら清絶。

（楊万里）

10月号創作概評

各々書く姿勢にもよるが、自分の書いたものを壁面に張ってながめていただきたい。折角の力作も一字ごとにこだわりすぎて、紙面全体に対する文字の流れを切ったり損ねたりしないよう、また古典の文字を十分観察して誤字に見えないように配慮することが肝要である。

（古川　暁洲　評）

10月号創作出品者

※成績順に掲載します。

《漢字半紙》

遠藤晃舟　○藤中秀峰　佐藤春芳
澁谷映華　松橋梢光　○竹森静玉　吉田静月
菊地飛山　小郷梅泉　大泉香華
端本綾径　**《漢字条幅》**　澁谷映華　竹谷恵峰
伊藤照峰　○児玉綺芳　横手彩泉

（○印は写真版）

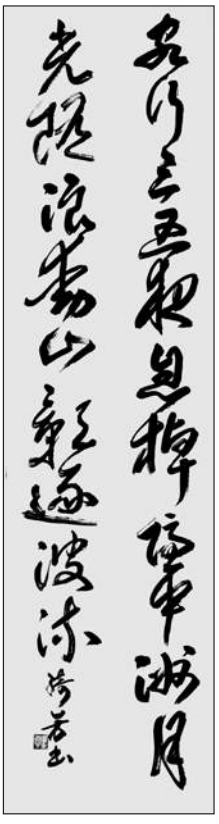
創作出品規定

・作品の**左下隅**に鉛筆で**台帳番号・段位・姓号**を記入して下さい。(支部会員の方は支部長名をご連絡下さい)
・締切日は**当月25日**です。遅れた作品は審査いたしかねます。
・例月作品とは**別送**し、「創作コーナー」係まで。
・審査後の作品返送希望者は、返信用封筒に住所・氏名を書き、切手を貼付して同封下さい。

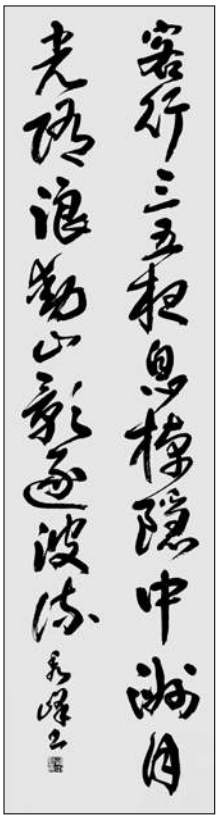
創作優秀作品（10月号）

課　題

（漢字条幅）客行三五夜　息棹隠中洲　月光随浪動　山影逐波流



児玉綺芳――元気に書けている作。1行目の中心に配慮があればなお進展を見るべし。



藤中秀峰――文字造形がうまく、穏やかな流れの作。ただ、字粒のそろいすぎで迫力は今一歩。

竹森静玉――点の動きに稚拙さは残るが、全体的に勁さがあって佳。書き込みに期待。

書作品を書こう

新しい年の幕開けにふさわしい詩文を探してみました。装いも新たにピカッと輝くような作品!!と思ってはみたものの輝くのは別のところばかり。それはともかく、こんな晴れ晴れとした澄み切った青い空のお正月を迎えられたらいいなぁと願いを込めて筆を執りました。

ところでこの詞はご存知でしょうか。♫年のはじめのためしとて　終わりなき世の　めでたさを　松竹たてて門ごとに　祝う今日こそ　たのしけれ♫　そう、「一月一日」という唱歌の2番なんです。この作品の詞の続きは、♫君がみかげに　たぐえつつ　あおぎ見ること　とうとけれ♫　どうでしょう。歌いたくなったでしょ。

四半切（68×17.5cm）
筆は羊毛小筆

半切½（35×68cm）、筆は羊毛

久しぶりに隷書を書いてみました。それも木簡※風の隷書です。兼毫の神技北斗でも試しましたが、思い描いた雰囲気の作品にならず、近くにあった羊毛筆を握ってみたらいい案配になりました。イメージした作品は、筆と紙を選ぶことによりガラッと変わることを再確認させてくれます。

※紙が発明される以前の木や竹に書かれた時代の書体。

抱　樸　樸を抱く

飾りけがない。「見素――、少私寡欲」（素を見わし――き、私を少なくし欲を寡くせよ）自分のほんとうの性質を表に現し、切り出したままの荒木のように飾りけのない気持ちを抱き、私利私欲を少なくせよ。〔老子」十九〕

9月号応募優秀作品

畑中　玲潤

潤渇が美しく表現され、味わい深い作品。ただ**枝**の旁、**観**の**隹**の細かい部分の運筆は、もう少し明確にするとよい。落款が下がり過ぎたのも注意されたい。

出品者　村上陽香、加賀谷錦泉、小池彩霞（2点）

応募規定

1. 締　切　**2月10日**（1月号例月作品に同送可。その場合、別封筒に入れて「書作品を書こう」と書いて同送のこと。）
2. 発　表　28年5月号
3. 規定用紙　**半切½（68×35cm）か四半切（68×17.5cm）**
4. 優秀作品1点だけ紙上にて発表（批評コメントつき）その他は姓号のみ発表
5. 段級位に関係なく誰でも出品可
6. 返送不可

※出品は掲載している作品と同じものを書いてもよい。また、当月規定用紙であれば自由作品可。

お詫び　**12月号に掲載した「白鳥は哀しからず…」の歌は石川啄木ではなく若山牧水のものでした。**

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

1月号　ペン楷書課題（ペン部）　奈良岱奉書

支部名
学年
段級位
（初めての人は新と書く）
氏名

不平をこぼす
人間に
与えられるものは
憐れみよりも
軽蔑である

サミュエル・ジョンソン

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価162円

（ボールペン0.7・硬筆用紙6行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

1月号　ペン行書課題（ペン部）　奈良岱奉書

不平をこぼす
人間に
与えられるものは
憐れみよりも
軽蔑である

サミュエル・ジョンソン

支部名
学年
段級位
（初めての人は新と書く）
氏名

※サミュエル・ジョンソン（1709～1784）…イギリスの文学者。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価162円

（ボールペン0.7・硬筆用紙6行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

1月号　　ペン手紙課題（ペン部）　　奈良岱奉書

新春恒例の凧揚げ大会が今年
も近くの公園で開催されました
空高く上がる凧に今年のあなたの
飛躍ぶりを見る思いでした

支部名

段級位

初めての人は新と書く

氏　名

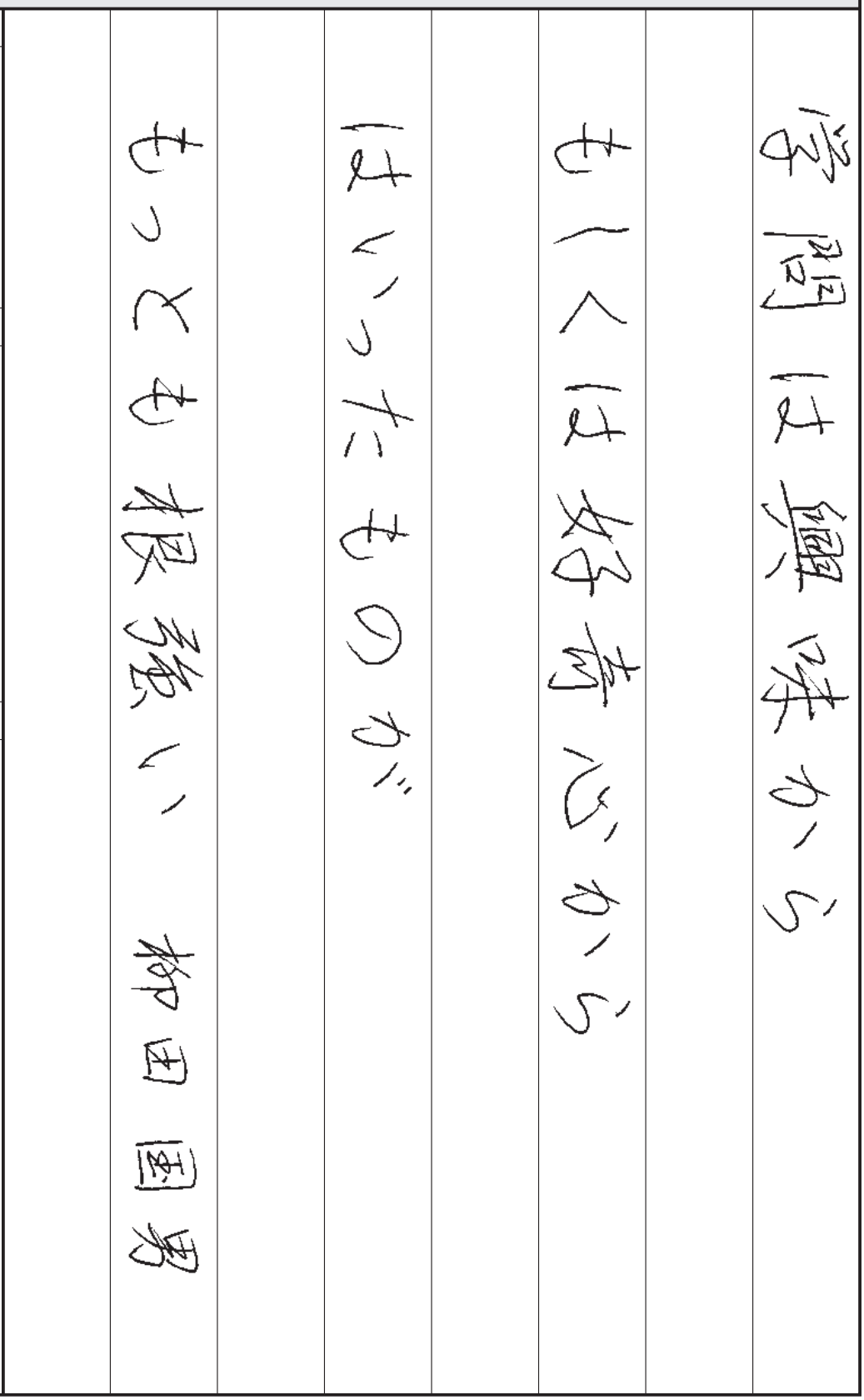
新春恒例の凧揚げ大会が今年　も近くの公園で開催されました
空高く上がる凧に今年のあなたの　飛躍ぶりを見る思いでした

（美文字筆ペン細字・硬筆用紙８行使用）

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております　定価２７０円

※出品段級位（ペン部 新級～八段）

1月号　ペン横書課題（ペン部）　奈良岱奉書



支部名

段級位

初めての人は新と書く

氏名

支部名・段級位・氏名は横書きでお書き下さい。

（ボールペン0.7・硬筆用紙8行使用）

※柳田国男（1875～1962）…民族学者。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております　定価162円